

見事、オーディションで「尾崎豊物語」の舞台に立った新人ふたりにスポット!

濱田陽子

生涯お芝居の勉強を続けたい



はまだようこ●1981年4月14日生まれ、鹿児島県出身
趣味/人間観察、ストレッチ 特技/ピアノ、料理

ファンレターの宛先

〒105-0021 東京都港区東新橋2-18-2 汐留シオサイト
グラディート汐留3F 株式会社劇団ポプラ
「濱田陽子 ファンレター係」まで
または「林正景 ファンレター係」まで

周りの人の声量の大きさ、踊りのうまさを目の当たりにして、自分はまだまだだと思いましたが…。でも自分が自分に足りないところなんだと思うこともできましたね。

稽古をして今までは違う新しい発見はありましたか?

演出家の木島さんに「二つのちよつとした動きやしんぞの大切さを改めて感じてさせてもらってます。ほんのちよつとしたことで変わっちゃってますよー」ってもしっかりいので、勉強になりますし、楽しかったです。

「そもそも舞台を始めてみようと思ったきっかけはなんですか?」

今まで芝居、歌、ダンス、TV、映画等、本当にいろいろな経験をさせて頂きました。その歌、踊り・芝居を全て同時に行うミュージカルに興味を持ったのがきっかけなんです。ちよつと同一時期にポプラのオーディションがあることを知って応募したんです。

実際にオーディションを受けてみて、どうでしたか?

「舞台という世界を目指す人には何が必要だと思いますか?」

やっぱり体力ですね。もちろん舞台以外でも必要なんですけどね(笑)。私も筋トレとストレッチ、あと声出しは毎日しています。私自身もまだまだ勉強中ですし、生涯お芝居の勉強を続けたいと思っています。そして「有名になりたいです!」



全国公演の舞台は各地で好評をおさめた。



林 正景

終演後の拍手は最高に気持ち良かった!

「ポプラに応募しよう!」と思った動機はなんですか?

高校の頃、演劇部に所属していたのですが、その頃から舞台へのあこがれがあり、雑誌の広告を見て、オーディションを受けることにしました。

オーディションではどんなことをやりましたか?

歌、ダンス、演技の3つでした。それぞれの課題を自分なりに解釈してその内容を(審査員に)伝えるという、決まった答えがない分、クリエイティブさを求められる内容だったと思います。

「出演時のエピソードなどはありますか?」

僕も同じく、演出家の木島恭さんに稽古を見てもらっていました。木島さんはとてもデジタルな演出をされる方だと思います。二つの動作に意味を持たせ、役者がやりやすい芝居を作ってくさる方。おかげでスツと役に入り込めました。

「自身の売りは何ですか? チャームポイントでも結構ですが?」

甘い歌声と、タリ目ですかね(笑)。

歌声は特に伸ばしていきたいところですか?

「本番を終えての感想は?」

終演後の拍手といたら最高に気持ち良かったです!! 舞台は皆で作っていくものだと思えて実感しました。

「今後の目標を聞かせて下さい。」

一人前の俳優になること、そして歌も歌っていきたい。言い出したらキリがないのでこのへんで(笑)

“感動”がいっぱい! 公演作品一例



「シンドバットの冒険」 「山椒大夫」
1978年の立ち上げ以来、数々の舞台作品を通して人々に夢と感動を届けてきた「劇団ポプラ」。年間300ステージもの公演実績を誇る。



はやしまさかげ●1986年6月19日生まれ、滋賀県出身
趣味/カラオケ、ダンス、読書 特技/ブレイクダンス、野球

劇団ポプラの詳細は

パソコンからアクセス
<http://www.poplar21.jp/>

携帯からアクセス
<http://ktai.at/poplar/>

お問い合わせは(携帯・PHSからもOK!)
0120-55-4475

次回作『火垂るの墓』キャストオーディション
応募要項はP126へ!

